令和５年度ヨーロッパザラボヤ付着情報（第５報）

令和5年10月4日

発　　行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

・小規模な付着が継続しています。
・４月から垂下していた付着器への平均付着重量は、前回と同程度でした。

＜調査方法＞

・山田湾内の定点において調査。
・ホタテガイ貝殻製の付着器を５ｍ、１０ｍ、１５ｍ水深に３枚ずつ垂下し、約１ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ（１ｍｍ以上）を計数。
・平均付着数：９枚（３水深×３枚）の付着器１枚あたりの平均値。
・４月から付着器を垂下して、ヨーロッパザラボヤの成長を調査。

＜調査結果＞

付着器投入日：令和５年４月25日、８月24日
付着器回収日：令和５年９月29日

・９/29の水深５・10・15ｍ層の平均水温は23.40℃、透明度は11ｍでした。
・８/24に垂下した付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は2.4個/枚でした。
＊ユウレイボヤの付着数は3.2個/枚でした。
・４月から垂下していた付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は71.0個/枚（38～108個体）、平均重量は303.6g/枚（148～529g）でした。

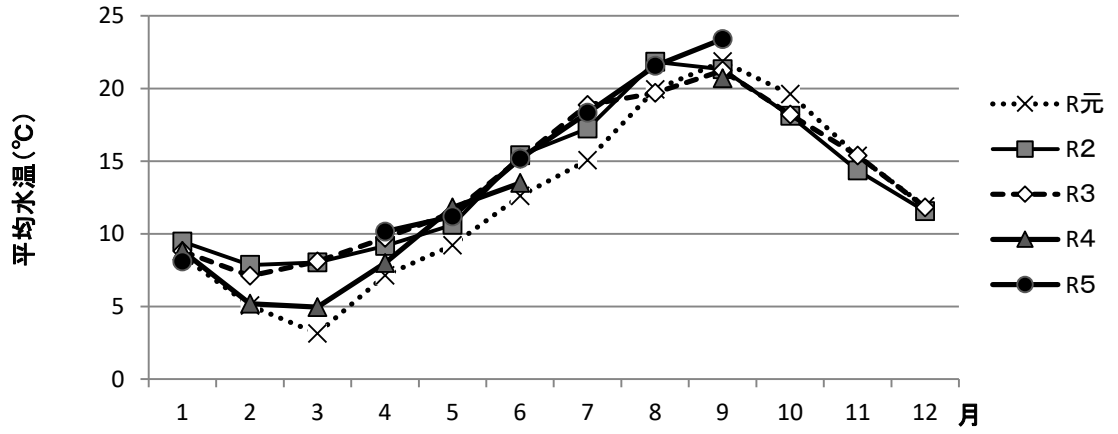

図１　山田湾定点における平均水温（５・１０・１５ｍ）の推移

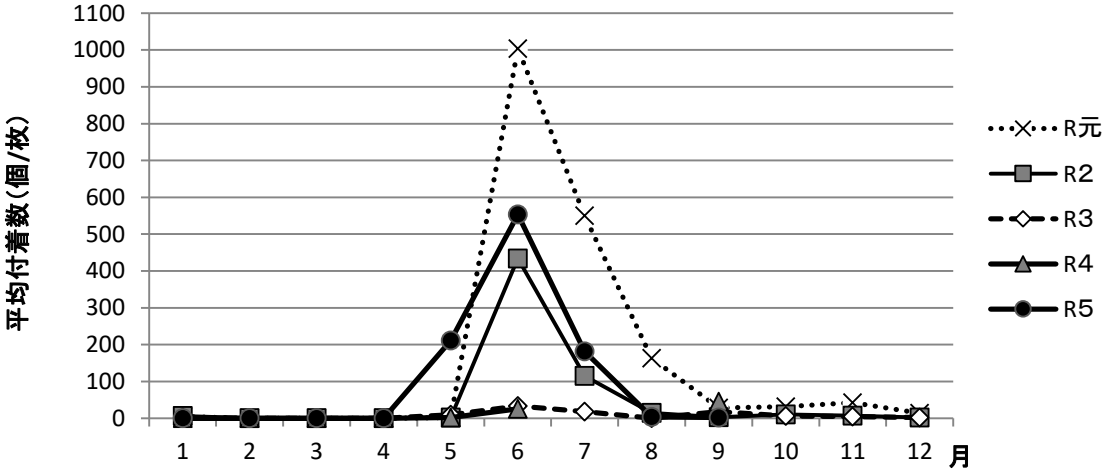

図２　山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

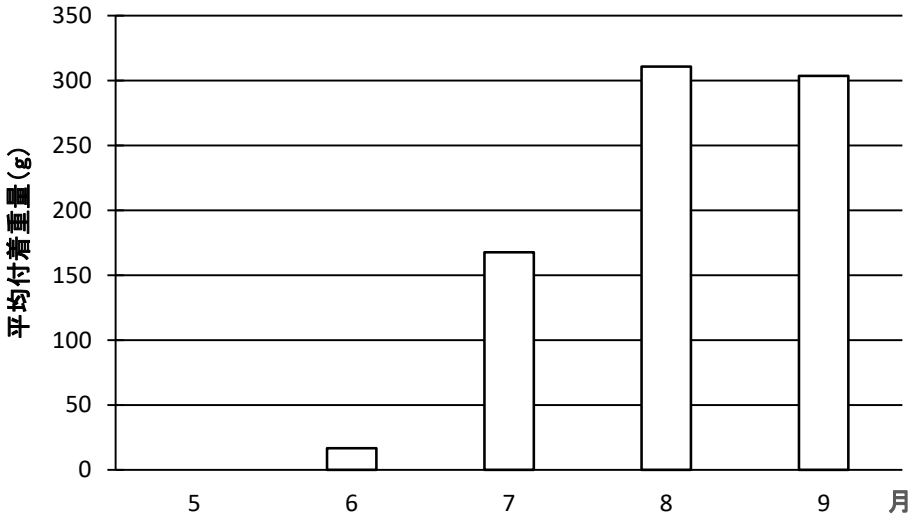

図３　山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着重量の推移

※５月も付着していたが、計測できない小型個体のみだったため「０」とした。

写真　４月から垂下していた付着器に付着していたヨーロッパザラボヤ
（上段：５m、中段：10m、下段：15m）

今年度のザラボヤ付着情報は、今回で終了となります。